

---

# 人生買論

宴寿

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人生買論

### 【Nコード】

N4080Z

### 【作者名】

宴寿

### 【あらすじ】

青年こと「私」は路地裏で不思議な少女に出会う。

**(前書き)**

大正ファンタジーをイメージして

路地裏に一つの寂しげな影が居ました。

「人の人生っていくらで買えると思う？」

酷く人道に反した質問だと思った。どこを見てるのか解らない目をしている少女は何処となく通りすがった私に聞く。そもそも私に聞いているのだろうか…それすらわからない。

「さあ？…このぐらいじゃないかい？」

立ち止まって手で額を表せば少女はそれをも見ずにふるふると首を振った。

「じゃあいくらだっていうんだい？まさか買えないなんて引っかけじゃないんだろうね。」

少しいらただしくなって声を上げれば少女はやっとこっちを見た。

「買えるよ？ただ代価が違うだけ。」

「じゃあなんというんだい？」

「『自分の人生』や『思い』。」

少女は秘密事でも言うつよつに口に指をあてて言う。

「何故そうなるんだい？」

少女の言ってる意味がいまいち私には掴む事が出来ない。

「人の人生を買うのはその人の人生を変えるようなもの。その人の人生を変えるには必然的に自分の人生を変える事にもなる。」  
「だから、自分の人生ね。」

私は掴めたような何か上手くまとめられてしまったような何とも言えない感じに襲われた。

「じゃあ思いはどうなるんだい？」

少女はくすつと可愛らしく息をもらした。さっきまで無機物のようだったがその笑みには人間らしさが混じっている。

「それそうとうの思いがなきゃ自分の人生を変えてまで人の人生を買うことはできないもの。」  
「なるほどね。」

少し納得のいく答えがもらえた気がした。

「ねえねえ。お兄さん」  
「なんだね？」

少女は最初とは違うどこか輝いた目で私を見ていた。

「私の質問を聞いてくれたのはあなたぐらい。」  
「まあ、こんな路地裏だしね。」

私は不思議と少女に興味がわいていた。

「お嬢さん。」

「なあに？」

「私は君に興味がわいたようだ。」

そう言えば彼女はまたくすつと息をもらした。

「私を買うの？」

「ああ、そうしようと思う。」

私が手を差し出せば彼女の小さい手は私の手を掴んだ。

「交渉成立ね。」

貴方の人生私がかいました。

大通りへと二つの影が何かを得て出てきました。どこか満足げに。二つの影は真っ暗な道を少し期待まじりに歩くのです。

(後書き)

初投稿でこの短さ…:てのはさておき…

人生は金で買える

と、何かで言ってたような気がします。確かにそうかもしれませんが、でも私は少女のように違うと考えます。

私的に人と関わることや人の人生を変えることは自分にも返ってく  
ると思うのです。

その人との関わりで…:といったように。

そう考えた結果でした。

この後、少女と青年こと私がどうなるかはわかりません。

二人がどういきぬくのか…:おうっと語りすぎた…:それではこの辺で

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4080z/>

---

人生買論

2011年12月20日00時54分発行